

平成30年度 先行入学試験学生募集要項

国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科

1 アドミッション・ポリシー

国立障害者リハビリテーションセンター学院では、我が国の障害者リハビリテーション分野における先駆的・指導的役割を担い得る専門職の養成を目指し、臨床のみならず研究・教育分野を先導できる人材を迎え入れています。

手話通訳学科では、手話という日本語とは異なる言語を学び、手話と日本語の間の通訳ができる人材を養成します。本学科の学生には、異言語・異文化にふれるという側面から《知的好奇心》《柔軟性》《心身のタフさ》、異言語・異文化の間をつなぐという側面から《人間関係を円滑に保つ力》《妥当な推論をする力》《自分で調べ学ぶ力》《情報処理の速度と精度》が要求されます。本学科は、上記の能力に対する潜在能力を秘めた人材を広く求めます。

選考は小論文試験と面接試験を課しています。小論文試験では、課題文の理解、要約力、表現力等を評価します。面接では、質疑応答を通して手話通訳士を志す動機・意欲、コミュニケーション能力、表現力・理解力等について評価します。

2 所在地 〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地
国立障害者リハビリテーションセンター学院
電話 04 (2995) 3100 (内線) 2611・2615

3 目的 聴覚障害者のコミュニケーションにかかわる手話通訳士の養成

4 募集人員 10名程度

5 修業年限 2年

6 教育科目

(1) 基礎科目 (260時間)

言語 (言語学・応用言語学・日本語)、社会 (文化人類学・社会学・現代社会)、心理 (心理学・カウンセリング)、知識 (リハビリテーション概論・社会福祉概論・法学概論・医学概論)、表現 (コンピューターリテラシー・身体表現論)

(2) 専門科目 (2,140時間)

言語 (手話言語学)、社会 (聴覚障害者の社会)、通訳 (通訳理論・手話通訳論)、知識 (聴覚障害者の教育・聴覚障害者のリハビリテーション・聴覚障害者の福祉・聴覚障害者のケースワーク)、手話実技 (手話Ⅰ・手話Ⅱ・手話Ⅲ・手話Ⅳ・手話Ⅴ)、手話通訳実技 (通訳基礎トレーニング・日本語表現技術・翻訳Ⅰ・翻訳Ⅱ・通訳Ⅰ・通訳Ⅱ・通訳Ⅲ)、実習 (施設見学・施設実習・交流実習・手話通訳実習)、その他 (特別講義・卒業研究)

計 2,400時間（1年次1,165時間 2年次1,235時間）

7 応募資格

学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第1項の規定により大学に入学することができ、かつ、20歳以上の者。

8 出願書類及び手続（証明書類については、3ヶ月以内のもの）

- (1) 入学願書・履歴書（所定の用紙に自筆）
- (2) 健康診断書（所定の用紙に病院・診療所・保健所で診断、記載のもの）
- (3) 受験票（所定の用紙に自筆）
- (4) 最終学校（学校教育法に規定している学校）の卒業証明書・高等学校卒業程度認定試験合格証明書
（旧大学入学資格検定合格証明書）
（卒業後、改姓した者は、戸籍抄本を必ず添付してください。）
- (5) 最終学校（学校教育法に規定している学校）の成績証明書
- (6) 入学検定料 16,000円
 - ① 本学院指定の払込用紙を用い、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口から払い込んでください。
現金・為替等での出願はできません。
 - ② 郵便振替払込受付証明書（受領印のあるもの）を入学願書の裏面に貼付してください。
- (7) 受験票送付用封筒（所定の封筒に、郵便番号、住所、氏名を記載し、切手392円を貼ってください。）

以上の書類を一括して、所定の封筒に入れ（一括送付以外は受け付けられません）、書留便で送付してください。

健康診断書については、入学試験の可否には関係しておりませんが、入学後の各種指導等のために提出頂いております。

なお、障害等のある方は、その障害の種類・程度に応じ、受験に際して便宜を図らせて頂きます。出願の際、養成主事へ連絡してください。

9 願書受付

- (1) 願書は、必ず郵送してください。
- (2) 受付期間
平成29年9月1日（金）～平成29年10月6日（金）（当日消印有効）
- (3) 受験票は、願書受付期間が終了し、当方の事務処理を終えてから送付します。

10 入学試験

- (1) 学科・面接試験
 - ① 実施日時 平成29年10月30日（月）
9時30分～17時00分（予定）
 - ② 試験科目 小論文 時間90分 配点100点

面接

配点100点

- (2) 試験場及び試験時間等の詳細については、送付される受験票とともに別途通知しますので確認してください。

11 合格者発表

平成29年11月10日（金） 14時00分

本センターホームページ (<http://www.rehab.go.jp/College/japanese/>) に掲載するとともに、合格者には別途通知（入学手続等の関係書類同封）します。

12 学 費

- (1) 授業料：年額408,000円（29年度実績）
(2) その他の経費：教科書・教材費等として2年間で約36万円（金額は変更となる場合があります）及び実習費（交通費、宿泊費）は自己負担となります。

13 出願書類等の請求

- (1) 出願書類(募集要項を含む)の請求方法は次のとおりです。
返信用封筒（A4規格24cm×33cm程度）に140円切手を貼付し、郵便番号、住所、氏名、学科名及び出願書類請求と記載し、別封筒に入れて下記まで郵送してください。
なお出願書類の請求は、遅くとも願書提出締切日の1週間前までに当学院に到着するよう行ってください。
(2) 郵送先：〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地
国立障害者リハビリテーションセンター学院 養成主事

14 その他

- (1) 学院宿舎は若干名のみ入舎可能です。
(2) 出願書類と入学検定料は、いかなる理由があっても返却しません。
(3) 不正行為等の防止の観点から、試験会場には携帯電話等の通信機器の持込みはできません。

15 問い合わせ先

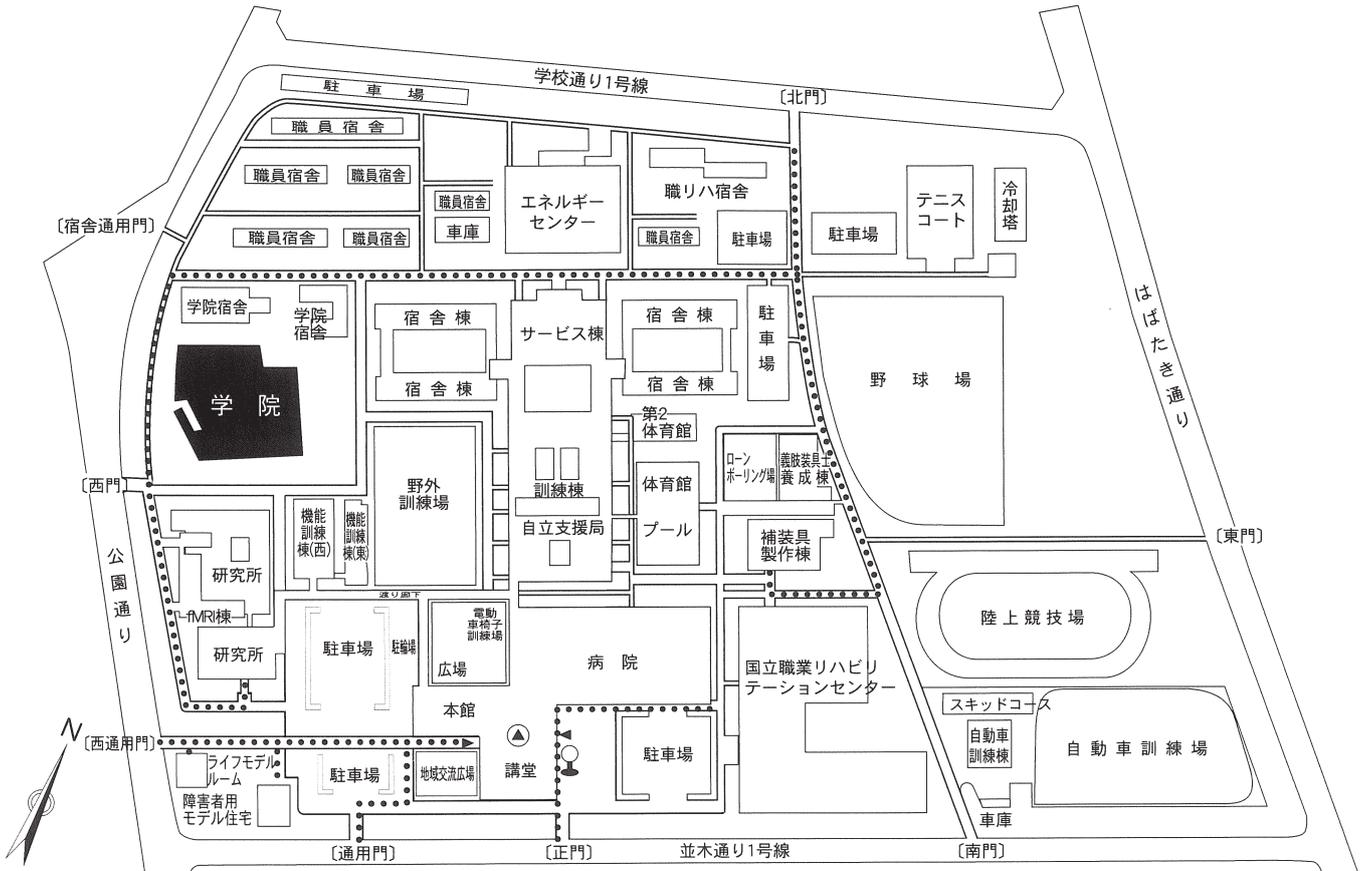
国立障害者リハビリテーションセンター学院 養成主事

電話 04 (2995) 3100 (内線) 2611・2615

メールアドレス: ga_you@rehab.go.jp

国立障害者リハビリテーションセンター案内

■ 施設配置図



本館1Fに『ゆうちょ銀行ATM』があります ▶ 入口 ▲ 総合受付 📍 バス停

■ 案内図



■ 交通案内

● 西武新宿線

西武新宿駅

高田馬場駅
JR山手線接続
(急行40分)

「航空公園」駅又は「新所沢」駅下車

(徒歩約15分)

センター

● 西武池袋線

西武池袋駅

(急行25分)

所沢駅のりかえ

(各停2~3分)

- 1 航空公園駅、新所沢駅には車イス利用者のためのエレベーターが設けられています。
- 2 航空公園駅、新所沢駅(東口)からセンターまで点字誘導ブロックが敷かれています。
- 3 航空公園駅からリフト付き市バス(ところバス)が運行されています。市内にお住まいの障害者の方は特別乗車証を提示することにより無料で利用できます。
- 4 所沢駅からセンターまでタクシーを利用すると約10分です。航空公園駅、新所沢駅からはタクシーで約5分です。

● 関越自動車道

所沢インターチェンジ「所沢方面」出口
(センターまで約30分)